

2021年度 第2回8月名大本番レベル模試 地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1問につき1点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語1つにつき1点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○/△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。

問題 I

問 1(3) 4 点

東京からヴァンクーヴァーへ移動するときは偏西風が追い風となるが、逆のときは向かい風となる。

【加点ポイント】

- ① (要因として) 偏西風/ジェット気流 →2 点
- ② (①の影響) 東京からヴァンクーヴァーへ移動するときは追い風で、逆は向かい風となる
/東へ移動するときは追い風となり、西へ移動するときは向かい風となる →2 点

問 3(1) 5 点 解答地図参照 ◎の位置

問 3(2) 各 3 点×3 解答地図参照

【加点ポイント】(都市名 2 点, 位置 1 点)

- ①都市名 ケープタウン →2 点 位置●南アフリカの南西岸であること →1 点
- ②都市名 アデレード →2 点 位置●オーストラリア中南部の西岸であること →1 点
- ③都市名 サンティアゴ →2 点 位置●チリ中部であること →1 点

問 3(3) 5 点

下降気流が卓越する亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)が南下する 1 月は降水量が少なく、寒帯前線が発達する亜寒帯低圧帯(高緯度低圧帯)が北上する 7 月は降水量が多い。

【加点ポイント】

- ① (1 月は) 降水量が少ない/乾燥する →1 点
- ② (①の理由) 亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)の影響を受ける →2 点
- ③ (7 月は) 降水量が多い/湿潤である →1 点
- ④ (③の理由) 寒帯前線の影響を受ける/亜寒帯低圧帯(高緯度低圧帯)の影響を受ける →1 点

問4 8点

J～Mは、いずれも古生代の造山運動で形成された古期造山帯の山脈である。中生代以降は造山運動を受けず侵食され続けたため、なだらかな丘陵状の山地となっている。また、造山運動を受けた古生代はシダ植物が繁茂していたため、周囲では、その化石である石炭が豊富に産出する。

【加点ポイント】

- ① (大地形の分類) 古期造山帯 →2点
- ② (造山運動を受けた時期) 古生代 →1点
- ③ (起伏の特徴) なだらか／丘陵状／起伏が少ない →1点
- ④ (③の理由) 侵食され続けた／中生代以降は造山運動を受けていない →1点
- ⑤ (豊富な資源) 石炭 →2点
- ⑥ (⑤の理由) 古生代はシダ植物が繁茂していた／古生代のシダ植物の化石である →1点

問題II

問1(2) 4点

【指定語句】

人口密度	土地生産性
------	-------

 2つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは1点減点)

人口密度が高く多くの人口を抱えるモンスーンアジアでは、人口扶養力の高い米が栽培される。狭い農地に多くの労働力を投入し、労働集約的で土地生産性の高い農業である。

【加点ポイント】

- ① (モンスーンアジアの人口) 「人口密度が高い」と「人口が多い」 →1点
- ② (米は) 人口扶養力(人口支持力)が高い／重量当たりのカロリーが高い →1点
- ③ (アジアの稲作の特徴) 狭い農地に多くの労働力を投入／労働集約的
／労働生産性は低い／自給的 →1点
- ④ (アジアの稲作の特徴) 土地生産性が高い →1点

問1(4)① (気候条件) 1点

雨季と乾季に分かれた温暖な気候

【加点ポイント】

「乾季がある」ことと「温暖／高温」 →1点

問1(4)① (用途) 1点

自動車燃料用のバイオエタノール

【加点ポイント】

- ① バイオエタノール／バイオ燃料 →1点

問 1(4)② 4 点

【指定語句】 遺伝子組み換え 中国 2 つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは 1 点減点)

カンポセラードと呼ばれる熱帯草原で、大規模な農場において大型機械を使用し、農薬や化学肥料を大量に投入して、栽培管理が容易な遺伝子組み換え大豆が、中国などへの輸出を目的に栽培されている。

【加点ポイント】

- ① (栽培地域の植生名) カンポセラード／カンポ／セラード →1 点
- ② (栽培の特徴) 遺伝子組み換え大豆が栽培される →1 点
- ③ (②の利点) 栽培管理が容易になる／除草剤 (農薬) への耐性が高い／害虫やウィルスに強い
／収穫量が増える →1 点
- ④ (栽培された大豆は) 中国へ輸出 →1 点

問 2(2) 4 点

地球温暖化防止などの目的から、近年、再生可能エネルギーとして木質バイオマスなどが燃料として多く利用されてきているため。

【加点ポイント】

- ① (薪炭材増加の理由) 木質バイオマスなどを燃料として多く利用
／林地残材・製材工場の端材・おがくず・剪定枝などを燃料にした →2 点
(※「木を利用した燃料の利用が増えた」のみ →1 点)
- ② (①の理由) 木材は再生可能エネルギーである
／木は成長過程で二酸化炭素吸収している →1 点
- ③ (①の背景) 地球温暖化を防止するため／地球温暖化が進行したため →1 点

問 2(3) 4 点

中国における消費拡大と森林保護政策による外材需要の増加に応じて、ロシアからの丸太輸出が増加したが、ロシアの政府は国内の製材業育成、輸出品の高付加価値化を図って丸太輸出を規制し、製材輸出を奨励している。

【加点ポイント】

- ① (丸太輸出増加の背景) 中国における消費拡大／中国への輸出の増加 →1 点
- ② (丸太輸出増加の背景) 中国の森林保護政策／東南アジア諸国の丸太輸出規制 →1 点
- ③ (丸太輸出急減の背景) ロシア国内の製材業育成のため →1 点
- ④ (丸太輸出急減の背景) 輸出品の高付加価値化／丸太より製材の方が高付加価値 →1 点

問 3(1)B 排他的経済水域／経済水域／EEZ →2 点

問 3(2) 4 点

[指定語句] 漁獲規制 水産物需要 2 つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは 1 点減点)

世界の水産資源は過剰漁獲のため枯渇しつつある。漁業生産量は漁業資源保護のため漁獲規制が行われるなど、生産量が停滞している。一方、世界の水産物需要は増加しており、養殖業生産量が大きく伸び、漁業生産量を上回るようになった。

【加点ポイント】

- ① (漁業生産量は)「漁獲規制」のため「生産量が停滞／生産量が横ばい」 →1 点
- ② (①の背景) 過剰漁獲／乱獲／水産資源の減少／魚の減少 →1 点
- ③ (養殖業生産量は)「水産物需要が増加」しているため「養殖業生産量は増加している」→1 点
- ④ (③の特徴) 養殖業生産量は漁業生産量を上回るようになった →1 点

問 3(4) 4 点

遠洋漁業の衰退や近海の資源枯渇、漁家人口の減少などにより漁獲高が減少する一方、円高の影響や消費者の嗜好の多様化などにより水産物の輸入が増大した。

【加点ポイント】

- ① 漁獲高が減少した／漁業生産量が減少した →1 点
- ② (①の理由) 遠洋漁業の衰退／近海の資源枯渇／漁家人口の減少・高齢化 →1 点
- ③ 水産物の輸入が増加した →1 点
- ④ (③の理由) 消費者の嗜好の多様化／円高の影響／冷凍技術の発達／安価な輸入魚の増加 →1 点

問題Ⅲ

問 1(1) 8 点

保護貿易は、輸入品に高い関税をかけたたり、輸入を認める数量を制限したりして、自国の産業を守ろうとする貿易のあり方である。これに対して、自由貿易は、貿易の妨げとなる関税や輸入制限を極力減らそうとする貿易のあり方である。

【加点ポイント】

- ① (保護貿易は) 輸入品に高い関税をかける →2 点
- ② (保護貿易は) 輸入量を制限する →2 点
- ③ (保護貿易の目的) 自国の産業を守る →2 点
- ④ (自由貿易は) 関税をかけない →1 点
- ⑤ (自由貿易は) 輸入制限をしない →1 点

問 1(3) 8 点

[指定語句] 植民地を持てる国 植民地を持たざる国 2 つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは 1 点減点)

イギリス、フランスなどの植民地を持てる国は、植民地や友好国と作ったブロック内での貿易を強化し、その他の国に対しては保護貿易を行った。これによって経済が停滞した植民地を持たざる国のドイツ、イタリア、日本が軍事的な領土拡張を目指し、第二次世界大戦に発展した。

【加点ポイント】

- ① 植民地を持てる国は、ブロック経済でブロック外に対して高関税をかけた
／植民地を持てる国は、植民地や友好国以外には保護貿易を行った →2 点
(※「植民地を持てる国はブロック経済を行った」のみ →1 点)
- ② (植民地を持てる国の例) イギリス／フランス →1 点
- ③ (①により) 植民地を持たざる国は経済が停滞した
／植民地を持たざる国は輸出不振により不景気となった →2 点
- ④ (③により) 植民地を持たざる国は、軍事的な領土拡張を図った／戦争を始めた →2 点
- ⑤ (植民地を持たざる国の例) ドイツ／イタリア／日本 →1 点

問 3 4 点

ある輸入品の急増で自国の産業が打撃を受けそうなとき、緊急に輸入を制限する措置である。

【加点ポイント】

- ① (措置の内容) 緊急に輸入を制限する／一時的に輸入量を制限する →2 点
- ② (①が認められる条件) ある輸入品が急増したとき／輸入量が一時的に急増したとき →1 点
- ③ (措置の目的) 自国の産業を守る →1 点

問 5(2) 8 点

[指定語句] ラストベルト 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは 1 点減点)

NAFTA の締結後、アメリカ合衆国から人件費の安いメキシコに生産拠点を移し、メキシコで製品を組み立ててアメリカ合衆国に輸入する企業が増えた。そのため、かつて製造業の中心であったラストベルトで雇用が縮小し、失業などの問題が生じた。

【加点ポイント】

- ① (問題点として) ラストベルトで雇用が縮小／ラストベルトで失業者が増加 →2 点
- ② (ラストベルトの特徴) かつて製造業の中心であった／製造業が盛んであった →1 点
- ③ (①の背景) 製造業 (自動車メーカーなど) がメキシコに生産拠点を移した →2 点
- ④ (③の背景) NAFTA の締結／関税が撤廃された →1 点
- ⑤ (③の背景) メキシコは人件費が安い →2 点

問題IV

問1(1) 8点

Aのインドネシアは新期造山帯に属する島嶼国であり、平地が少なく傾斜の急な山地が多いため、棚田が発達しているが、BのベトナムやCのタイはインドシナ半島に位置し、前者ではメコン川やホン川、後者ではチャオプラヤ川が形成する沖積平野での栽培が中心である。

【加点ポイント】

- ① (Aは) インドネシア →1点
- ② (①の地形の特徴) 平地が少ない／山地が多い →1点
- ③ (①の米の栽培形態) 棚田での栽培 →2点 (※「山地斜面」などのみ →1点)
- ④ (Bは) ベトナム →1点
- ⑤ (Cは) タイ →1点
- ⑥ (④⑤の地形の特徴) 沖積平野が広がる／平野が多い／大河川が平野を形成 →1点
- ⑦ (④⑤の米の栽培形態) 平野での栽培 →1点

問1(2) 華人 →2点 華僑 →△1点

問2(1) 8点

ウのコーヒー豆は雨季と乾季のあるサバナ気候区の地域で多く栽培され、アの油やしやエの天然ゴムは年中高温多雨の熱帯雨林気候区の地域で栽培されている。

【加点ポイント】

- ① (ウは) コーヒー豆／コーヒー →1点
- ② (ウの栽培地) サバナ気候区 →1点
- ③ (②の特徴) 雨季と乾季がある／気温が高く乾季がある →2点
- ④ (アは) 油やし／オイルパーム →1点
- ⑤ (エは) 天然ゴム →1点
- ⑥ (ア・エの栽培地) 熱帯雨林気候区 →1点
- ⑦ (⑥の特徴) 年中高温多雨 →1点

問2(2)理由 6点

日本におけるバナナの輸入自由化により、ラテンアメリカより距離が近いフィリピンで日本向けのバナナが栽培されるようになったから。

【加点ポイント】(★問2(2)の「農産物名：バナナ」の正解を加点の前提とする)

- ① (栽培の目的) 日本向け／日本に輸出するため →2点
- ② (①の背景) 日本におけるバナナの輸入自由化 →2点
- ③ (その他) ラテンアメリカより距離が近い／アメリカ資本や日本資本による栽培 →2点

問 3(2) 10 点

K の ベトナム は、1 人 当 たり G N I が 増 加 し て い る が、こ の 5 か 国 の な か で は 最 も 少 な く、人 件 費 が 安 い と 考 え ら れ る。輸 出 品 で は 2011 年 に は 少 な か っ た 機 械 類 の 輸 出 額 が 4 割 以 上 を 占 め る ま で に な っ て い る こ と か ら、労 働 力 指 向 型 工 業 で あ る 組 立 型 機 械 工 業 の 外 資 系 企 業 の 立 地 が 進 ん だ と 思 わ れ る。こ の こ と を 可 能 に し た 政 策 が 社 会 主 義 型 市 場 経 済 を 目 指 す ド イ モ イ 政 策 で あ る。

【加 点 ポ イ ン ト】 (※ 問 3(1) の 「K : ベトナム」 の 可 否 は 不 問 と す る)

- ① (産 業 構 造 の 変 化) 工 業 化 が 進 ん だ / 農 業 人 口 が 減 り 工 業 人 口 が 増 え た → 2 点
(※ 文 脈 で 「工 業 化」 が 読 み 取 れ れ ば 加 点)
- ② (① の 理 由) ・ 人 件 費 が 安 い / 労 働 力 が 安 い / 1 人 当 たり G N I が 低 い → 2 点
 - ・ 1 人 当 たり G N I は 増 加 し た → 1 点
 - ・ 機 械 類 の 輸 出 が 増 加 し た → 1 点
- ③ (① の 理 由) ・ 労 働 力 指 向 型 工 業 / 組 立 工 業 / 労 働 集 約 型 工 業 の 立 地
 - ・ 外 資 系 企 業 の 進 出 / 外 資 の 導 入
 - ・ 輸 出 加 工 区 の 設 置} 1 つ 1 点
2 点 まで
- ④ (政 策 名) ド イ モ イ / ド イ ・ モ イ → 1 点
- ⑤ (④ の 内 容) 社 会 主 義 型 市 場 経 済 を 目 指 す / 市 場 経 済 の 導 入 → 1 点